

社会教育教材4 (乳幼児教育、高齢者教育・問題、家庭教育、視聴覚・放送教育)

| 番号 | 教材名 | 大分類 | 中分類 | 内容 | 時間 | 制作年 | 備考 |
|-------|--|------|----------|--|----|------|----|
| D1011 | 絵本 読み聞かせ おうちで実践編 1 たっぷり！読み聞かせの楽しみ方 | 社会教育 | 乳幼児教育 | 「うちの子は本が好きになれないのでは…？」という悩みをよく耳にする。でも実は、いわゆる『ごっこ遊び』で自由に空想の世界を楽しんでいる子どもたちは、みんな本やお話を楽しむ才能を持っている。難しく考えずに、まずは親子で絵本を楽しんでみませんか？ 読み聞かせの楽しみ方5つのポイント！ | 35 | 2005 | |
| D1012 | 絵本 読み聞かせ おうちで実践編 2 びったり！絵本の選び方 | 社会教育 | 乳幼児教育 | 「本を読みなさい！」といわれても、差し出された絵本が面白くなければ、なかなか本が好きにならない。子どもが「この本、だいすき！」と目を輝かせてくれるような、素敵な絵本を選びましょう。 絵本選びの4つのポイント！ | 35 | 2005 | |
| D1013 | 子育て支援ビデオ子育て で不安を乗り越えて | 社会教育 | 乳幼児教育 | 今、子育てに不安を感じる人々が増えている。生活の利便性が高まりながら、なぜ、親たちは子育てに不安と戸惑いを持つのでしょうか。子育てをどうとらえ、どう取り組みれば、子育て不安を乗り越えられるのか。識者や支援センター、親たちのインタビューを交え、不安を乗り越えるヒントや視点を親たちや子育て支援に取り組む人々に伝えている。[子育て中の親たちへむけて]○子育ての不安を語る母親たちの声 ○各支援センターの思い ○大日向雅美先生から親たちへ | 22 | 2006 | 購入 |
| D1014 | 子育て支援ビデオ子育て で支援に求められるもの | 社会教育 | 乳幼児教育 | 今、子育てに不安を感じる人々が増えている。生活の利便性が高まりながら、なぜ、親たちは子育てに不安と戸惑いを持つのでしょうか。子育てをどうとらえ、どう取り組みれば、子育て不安を乗り越えられるのか。識者や支援センター、親たちのインタビューを交え、不安を乗り越えるヒントや視点を親たちや子育て支援に取り組む人々に伝えている。[子育て支援者へむけて]○取り組みが目まがみされている施設の支援者に、子育て支援のポイント、課題や陥りやすい問題点、工夫などを聞く ○大日向雅美先生から支援者たちへ | 26 | 2006 | 購入 |
| D4020 | 見て学んで考えるWEB教材 キッズ介護教材 長寿大国を探検しよう | 社会教育 | 高齢者教育・問題 | 少子高齢化が急速に進んでいる中で、社会の中で子どもたちが高齢者と出会う割合はますます多くなっています。「介護」が、ごくごく身近なところで起きても不思議はない今日、「介護」はもはや大人だけの話ではありません。折しも平成27年度からの介護保険制度の改正により、自立支援の概念が強くなっていることもあり、家庭で家族が担う介護、生活リハビリ、介護リハビリの要素は大きくなります。子どもたちも、高齢者への最低限の介護、介助のスキルを知っておく必要性が高くなっています。この教材は、もはや子どもたちに縁遠いものではない「介護」について、楽しくわかりやすく学んでもらうものです。そして、他人への思いやりの精神、その精神を発揮することを自分自身で考え、実行する力を身につけてほしいと願います。 | 15 | 2016 | |
| D1036 | お年寄りのための防犯対策 (住宅編) 今、高齢者が狙われている！ | 社会教育 | 高齢者教育 | ここ数年、犯罪件数は著しく増加し、高齢化社会が進むにつれて犯罪状況も大きく変化している。「年金詐欺」「悪質リフォーム詐欺」「強盗」など、お年寄りが犯罪の格好のターゲットとされている。悪質な犯罪にあわないためには、どうしたらいいのだろうか？この教材では、家にいるお年寄りを狙った犯罪の様々な手口とその対策をわかりやすく解説している。○住宅の手入れと防犯 ○住まいのガードを固める(環境) ○住まいのガードを固める(習慣) ○もし、侵入されたら(寝室) ○犯罪に強い家と地域 | 16 | 2005 | |
| V1573 | やさしい手 豊原ミツ子の家庭介護 シリーズ 1 入門編 一ゆとりある介護のために― | 社会教育 | 高齢者教育・問題 | この作品シリーズは、お年寄りと生活することの意味、お年寄りに自立した生活を送ってもらうことの大切さ、そして具体的な世話の方法を、介護者の立場に立ち、分かりやすく紹介するものである。ここでは、お年寄り暮らしすることの意味を、元気なお年寄り暮らしに励むお年寄り、そして寝たきりのお年寄り、それぞれの家庭での生活をとおして考えている。 | 18 | 1998 | |
| V1574 | やさしい手 豊原ミツ子の家庭介護 シリーズ 2 自立編 自立を助け、リズムある生活を― | 社会教育 | 高齢者教育・問題 | この作品シリーズは、お年寄り暮らしと生活することの意味、お年寄りに自立した生活を送ってもらうことの大切さ、そして具体的な世話の方法を、介護者の立場に立ち、分かりやすく紹介するものである。ここでは、お年寄りに寝たきりにさせない、お年寄りに優しい住宅をモデルルームから学ぶとともに、自立を助けるリハビリの方法や介護サービスの利用の仕方などを紹介している。 | 14 | 1998 | |
| V1575 | やさしい手 豊原ミツ子の家庭介護 シリーズ 3 実際編 ―無理のないケアを目指して― | 社会教育 | 高齢者教育・問題 | この作品シリーズは、お年寄り暮らしと生活することの意味、お年寄りに自立した生活を送ってもらうことの大切さ、そして具体的な世話の方法を、介護者の立場に立ち、分かりやすく紹介するものである。ここでは、実際に寝たきりのお年寄りを介護している家庭を例に、家族の関わり方と対応、便利な介護用品、介護のノウハウなどを紹介している。 | 19 | 1998 | |
| V1517 | あなたもできる車椅子の 介助 「ともに生きるために」シリーズ | 社会教育 | 障害者問題 | 健常者が何気なく歩いている街も、車椅子で行動しようとする様様な障害に出会うことがある。この作品は、車椅子とともに歩きながら、段差や溝などの越え方、坂道・デコボコ道や悪路、階段などでのケーススタディを通して、車椅子の介助の仕方を実践的に示すものである。 | 9 | 1994 | |
| V1518 | 視覚障害者の介助 ―その誘導の仕方― 「ともに生きるために」シリーズ | 社会教育 | 障害者問題 | 視覚障害者は目の役割をする白杖や点字ブロックを頼りに行動しているが、街中では色々な障害があって困惑する。そういう人を見かけたらどうするか。この作品は、目の不自由な人が困ること、分からないことなどを含め、様々な事例をとおして誘導の仕方を具体的に示すものである。 | 10 | 1994 | |
| V1519 | 聴覚障害者とのコミュニ ケーション 「ともに生きるために」シリーズ | 社会教育 | 障害者問題 | 聴覚障害者は見た目だけでは、どう困っているかも分かりにくく、対応法もむずかしい。この作品は、聴覚障害者とのコミュニケーションを図るために心得ておきたいこと、相手の立場に立って接すれば素晴らしい会話が成り立つことを、実践的なケーススタディをとおして示すものである。 | 9 | 1994 | |

| 番号 | 教材名 | 大分類 | 中分類 | 内容 | 時間 | 制作年 | 備考 |
|-------|--------------------------------------|------|--------------|--|----|------|--------------|
| C4005 | 糸で広がる楽しい世界 あやとりで遊ぼう (Windows版) | 社会教育 | 家庭教育 | 古くて新しい遊びといわれるあやとりは、江戸時代に盛んに行われていたという記録や、日本だけでなくアメリカやオーストラリア、中国など、いろいろな国で行われている。この教材は、あやとりの魅力を紹介し楽しんでもらうためにつくられています。丁寧に取り方が説明されているので、初めての人も安心して使える。〇お父さん、お母さんと遊ぼう！ 親子で楽しむあやとり〇ともだちといっしょに遊ぼう！ みんなで楽しむあやとり〇みんなもびっくり！ ふしぎなあやとり手品 | - | 2007 | |
| D1049 | 子育てに希望を！ 児童虐待のない社会のために | 社会教育 | 家庭教育 | 児童虐待が社会問題として取り上げられる中、背景のひとつに、母親の子育て環境の問題があると考えられています。この作品では子育ての不安から起因する問題とその解決法を、再現ドラマや、埼玉県和光市での取組を通して紹介し、子育てに希望の持てる社会づくりの大切さを強く訴えます。文部科学省選定・教育映像祭優秀作品賞受賞。一般向け。 | 19 | 2012 | |
| D1044 | 起こる前に考える 子ども虐待 | 社会教育 | 家庭教育 | 虐待の問題を予防という観点に立つと、核心はこの愛着形成にあると考えられます。虐待の背景には養育者との愛着関係がうまく形成されなかった事例が多く報告されているのです。また都市化と核家族化が進んだ現代社会では子育て支援が喫緊な重要課題です。 | 39 | - | |
| V1382 | ハイパーメディアの世界 —「文京文学館」 を事例として— | 社会教育 | 視聴覚・ 放送教育 | 近年、教育の場にもコンピュータ技術を活用した新しい学習方法が開発されている。その中でも期待が寄せられているハイパーメディアは、文字・映像・音声などの様々な情報をひとまとめにしたもので、インタラクティブ性（相互対話型）という特徴を持つ。日本初のハイパーメディア教材として日本視聴覚教育協会によって開発された「文京文学館」を事例として紹介する。 | 25 | 1991 | V1383 も同じ |